

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター  
令和5年度 事業計画

## I 基本方針

少子高齢化と人口減少が進展している中で、社会の活力を維持し、持続可能な社会を実現していくためには、働く意欲のある高齢者がその経験と能力を生かして、生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センター事業では、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の維持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献し、シルバー人材センター事業におけるSDGs（「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標）に繋がります。

この様な中、伊豆の国市シルバー人材センターでは、令和5年度における目標と取り組むべき具体的事業の方向性を定め、共に働き、共に助け合っていくことを目指す「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の担い手」として実践できるよう、会員・役職員が一丸となって事業の推進に取り組んでまいります。

### 重点目標

1. 会員の確保・拡大
2. 就業機会の拡大
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営組織の活性化
5. SDGsへの取り組み

### 数値目標

1. 会員数 550人
2. 就業率 78.2%
3. 受注契約金額(請負・委任事業) 222,700千円

## II 実施計画

### 1 会員の確保・拡大

全シ協から示された「令和5年度事業計画における第2次会員100万人達成計画」がコロナ禍の影響により、当面、コロナ前の水準(令和元年度)の会員数に回復させることを最優先に「連合の令和5年度目標数」を設定したため、引き続き会員拡大の取り組みを推進します。

#### (1) 入会の促進

- ① 入会説明会参加者の一定数が入会していることから、月例会説明会に加え、出張入会説明会を開催し、入会者の増加を図ります。
- ② 会員の協力による体験談を交えた就業紹介を実施し、新規会員の確保及び加入を促進します。

#### (2) 退会の抑制

- ① 未就業会員には、定期的に就業(求人)情報を提供や就業相談を実施し、より長く伊豆の国市シルバー人材センター会員として活躍できる環境の整備を図ります。

#### (3) 広告宣伝の実施

- ① 市広報紙、ホームページ、会報などへ定期的に伊豆の国市シルバー人材センター会員の募集を掲載します。
- ② 募集パンフレット等を作成して、会員によるポスティングや各イベントにおいてPR活動を展開します。

#### (4) 多様な人材の確保

- ① 資格・技能を保有した会員を把握・管理し、様々な発注者のニーズに的確な応えられる仕組みの整備を図ります。

#### (5) 女性会員の増加

- ① 女性限定の入会説明会と研修会をセットにした入会手続きを実施します。
- ② 女性会員対象の講座等を開催するとともに、会員間の交流を図ります。

### 2 就業機会の拡大

就業機会の拡大を図るため、発注者のニーズを的確に把握し、民間企業への訪問や受注内容を紹介したパンフレット等を作成し、新規就業先の開拓と既存契約先における継続就業の維持に努めます。

#### (1) 就業先の開拓

- ① 伊豆の国市シルバー人材センターの就業開拓の方法等を見直すことにより、多くの会員に就業機会を紹介できる体制の整備を図ります。
- ② 女性会員の就業先確保や受注件数の増加も図ります。

#### (2) 会員の技術・技能の向上

- ① 就業に繋がる次の講習会を開催し、会員が就業する際の不安を軽減します。

- ② 植木剪定・除草作業等の後継者の育成を図ります。
  - ・植木剪定技能等講習会：年2回(内1回後継者の育成を図る講習会)
  - 未就業会員に植木剪定・除草作業等を紹介し、就業者の増加を図ります。
  - ・家事援助講習会：年2回
  - ・接遇講習会：年2回
  - ・手芸・園芸講習会：年2回
- (3) 就業相談の活性化
  - ① 毎月20日の入会説明会を実施し、シルバー人材センター事業の制度や活動・就業にあたっての心構えなどを理解できるよう図るとともに、潜在能力の掘り起こしに努めます。
  - ② 未就業会員に随時個別面談や電話等による就業相談を実施します。
- (4) 独自事業の推進
  - ① 会員の自主的な取り組みにより実施される独自事業の良好な運営を図ります。
  - ② 新たな独自事業を開拓し、会員の就業機会の拡大を図ります。

### 3 安全・適正就業の推進

会員の就業については、能力と体力に見合った仕事を通じて「健康・生きがい・社会参加」を希望する高齢者等に安全に遂行できるようにすることが課題であります。

- (1) 安全就業の推進
  - ① 安全パトロールを引き続き実施するとともに、安全・適正就業委員及び職群班が中心となって安全な就業の方法等を検討し、安全就業の推進を図ります。
- (2) 安全意識の向上
  - ① 就業前の「KYチェックシート(危険予知チェック)」を活用し、事前チェックを実施するとともに、会員一人ひとりの安全意識の向上を図ります。
- (3) 安全講習会の開催
  - ① 会員が安全に就業できるよう安全に関する次の講習会を開催し、事故発生の防止を図ります。
    - ・草刈機取扱講習会等の開催：年1回以上
    - ・健康管理に関する講習会の開催：年2回
- (4) 就業の適正化
  - ① 厚生労働省からの「適正就業ガイドライン」をもとに請負・委任、派遣、職業紹介の就業形態について厳正な業務を推進します。
  - ② 多様な働き方を希望する会員が就業機会を得られる体制の整備を図ります。
  - ③ ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により特定の人

に仕事が集中しないように就業の公平性と未就業会員の就業確保に努めます。

#### 4 運営組織の活性化

会員組織の充実と運営組織の活性化に向けて、次の取り組みを推進します。

##### (1) 運営組織の活性化

- ① 職群班で検討されている情報を理事会・委員会等で共有し、課題解決に向けて連携できる体制の整備を図ります。
- ② 役員の資質向上とシルバー人材センター事業発展のための先進事例等の調査や先進シルバー人材センターの調査研究を実施します。

##### (2) 会員組織の活性化

- ① 職群班ごとの新入会員研修の充実及び未就業相談会を検討します。
- ② 女性会員の職群班の枠を超えた交流を実施します。
- ③ 他市シルバー人材センターとの女性会員間の交流を実施します。

##### (3) 事務局組織の活性化

- ① 事務分担の明確化及び事務マニュアルの整備をします。
- ② 各種研修会への参加及び他シルバー人材センターとの連携により職員の資質向上を図ります。
- ③ 事業を円滑かつ効率的に推進するために定期的な会議を実施します。

##### (4) 生きがい・魅力づくり

就業を通じて生きがいに繋げる役割はもちろんのこと、地域社会との連携など、就業以外でも伊豆の国市シルバー人材センターの会員であることに生きがいを感じられるよう、生きがい・魅力づくりを推進します。

#### 5 SDGs への取り組み

全シ連の取り組みに呼応して、伊豆の国市シルバー人材センターとして「SDGs (持続可能な開発目標) 推進宣言」を行い、持続可能な目標に向けた具体的な取組みを推進します。